

ブロックエディタ（Gutenberg） 続き編 マニュアル

コンテンツの記事にボリュームがある場合、次コンテンツを効果的に表示するために必要なブロックです。設定方法を解説しましたのでご利用ください。

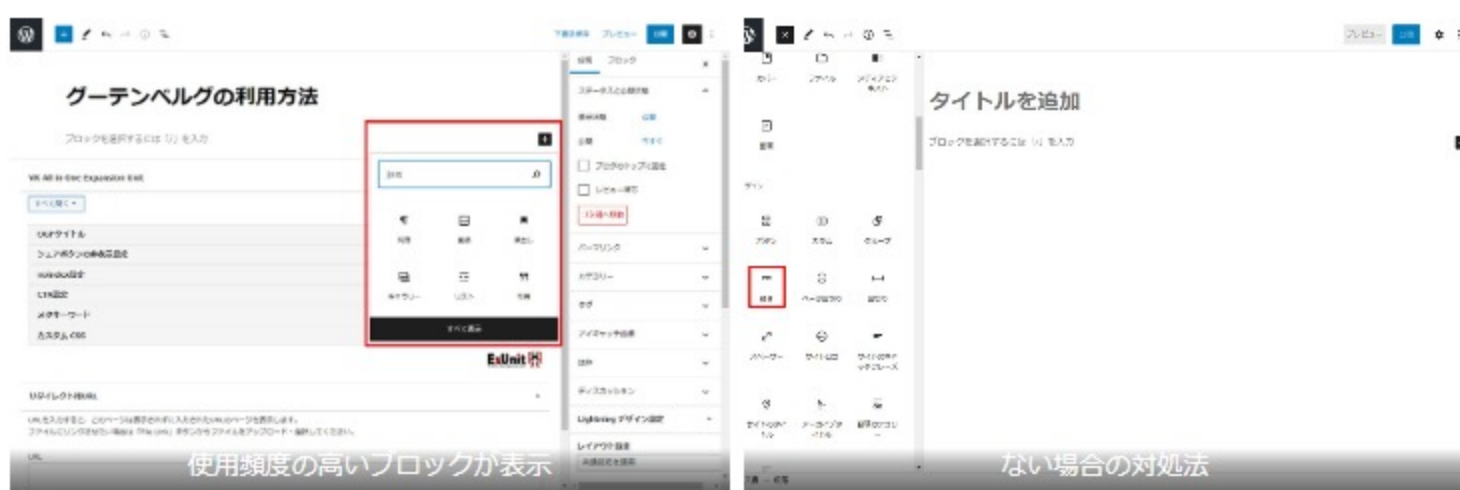
おすすめ度



画像による使い方マニュアル

STEP 1

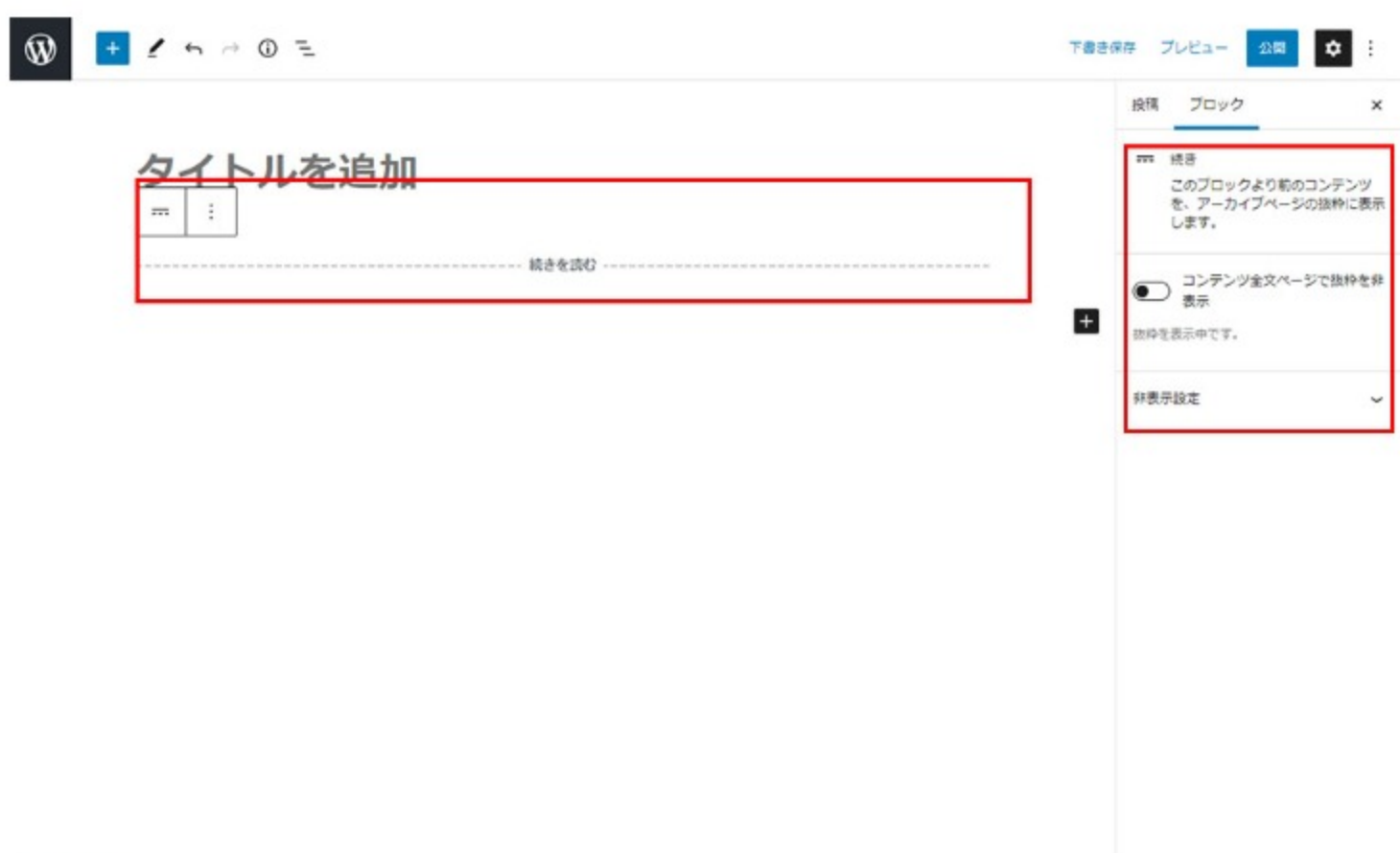
挿入



ブロックの挿入は+アイコンをクリックしてブロックを挿入。赤枠の中から「続き」を選択。

STEP 2

設定



設定方法は右側のサイドバーに表示されます。

※もし表示されていない場合は画面右上のギアのマークをクリックすると表示されます。

設定できる内容

ブロック挿入時の場合

続き

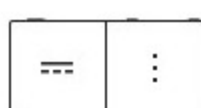
このブロックより前のコンテンツを、アーカイブページの抜粋に表示します。

コンテンツ全文ページで抜粋を非表示

抜粋を表示中です。

非表示設定：画面サイズにより設定を表示もしくは未表示の設定が可能

続き挿入時（メニューバー）の設定



メニューバー

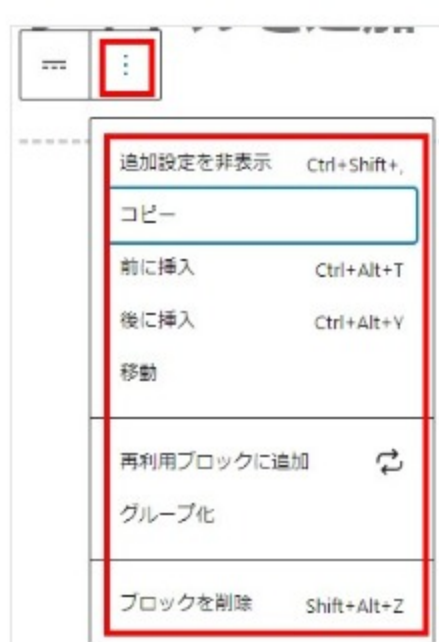
選択アイコン



現在選択されているブロック名

挿入するブロックを間違えた場合は、他のブロックに変更できる。があまり選択肢の幅はない。よく使うブロックに限られる。その為このブロックを削除して改めて選択し直す必要があります。

ブロック編集



設定できる内容

コピー：ブロックのコピー。段落挿入後張り付けるとコピーされる。
複製：ブロックの複製。同じ内容が複製（コピペ）でき上段の作業を1回で行えるメリットがあります。

前に挿入：現在のブロックの前に新たなボックスを挿入することが出来ます。

後に挿入：現在のブロックの後に新たなボックスを挿入することが出来ます。

移動：ブロックの移動

HTMLとして編集

再利用ブロックに追加：該当ブロックを登録して再利用が行えるように登録する。※テーマプラグインにより表示されない場合がある。

グループ化：複数のブロックをまとめる事が出来る。

ブロックを削除